

☆公害による健康被害を許すな!  
 ☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



のぶどう  
画・加納忠

# 大阪から公害をなくす会 ニュース

**大阪から公害をなくす会**  
 〒540-0026 大阪府中央区内本町2-1-19  
 内本町松屋ビル10 370号  
 TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121  
 E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp  
 URL http://oskougai.com/  
 発行責任者 金谷 邦夫  
 年間購読料一部2,000円(送料共)

## チェルノブイリからフクシマへ 何を学ぶべきか ① チェルノブイリ訪問 金谷 邦夫 (大阪から公害をなくす会会長、医師)



福島第一原発事故から5年が経過した今年、福島では政府や県当局から「事故は過去のもの」にする動きが進んでいます。では、原発事故から30年になるチェルノブイリはどうなっているのか？そこから学ぶ事は何か？と、チェルノブイリ訪問のツアーに参加しました。

訪問先は、ウクライナの首都キエフ市内のチェルノブイリ博物館と、原発及び原発労働者の街だったプリピチです。

### ◎ チェルノブイリ博物館

チェルノブイリ博物館はとてもコンパクトな博物館です。ここには事故当時の写真や資料、爆発した4号機の模型、作業員の作業状況、避難の状態、原子雲の流れ(動画)など全体像がわかるように展示しています。さしずめ広島原爆資料館を想定していただければよいでしょうか?人類の失敗の一つの「負の遺産」をきちんと残し、そこから今を保障し、将来繰り返さないためにも残す必要があるということを考えさせられました。この博物館は事故から5年くらい過ぎて作られたのですが、福島原発事故も5年が過ぎているので、ぼつぼつ資料館を造ってもよいのではないかと思います。「負の歴史」からも多くのことを学ぶ必要があるのです、ぜひ本格的に考え始める時期かと思えます。



右から1号機、左端が爆発した4号機

### ◎ チェルノブイリ原発

チェルノブイリ原発は、首都キエフから北に向かって100キロあまり。都市から農村地帯、そして荒地・原野と続いた先にあります。原発から30キロと10キロ地点に検問所があります。そこは強制避難区域に入る者のチェックと、出る時に放射能汚染していないかのチェックを行います。二つの検問所の中間、原発から15kmのところにはチェルノブイリ市がありました。今は研究者や見学者の宿泊のための小さなホテルなどがあるだけです。街の木造建造物はすべて破壊されて地中に埋められてしまいました。セメントや石造りの建物だけが残っています。利用されない建物は除染もされていませんし、周辺もそのままなので30年過ぎた今も、一歩踏み出せば空間放射線量は大阪の数十倍、そこに住めば年間20ミリシーベルトを軽く超えて被曝します。

チェルノブイリ原発は、日本の原発の見慣れた原発風景とは違って、1号機から4号機までがならぶ、普通の工場のような外観でした。しかし1号機の近くには、事故処理従事者で、急性被ばく障害で亡くなった30人の銘板をはめ込んだ追悼の施設があります。4基が並んだ端に事故を起こした4号機が赤茶けてくっついて

います。4号機周辺は作業を行うため除染して、その傍以外は防護服なしで作業員は働いています。観光客も250m位まで近づけます。しかし4号機の傍は100ミリシーベルト/時で、作業は10分程度で交代だそうです。4号機本体は爆発・火災で屋

根は無く、むき出しの鉄骨が赤くさび、その下に、鎮火のために砂やセメント、鉛などを投下してできた石棺らしいものが伺えます。30年が過ぎ事故当時の悲惨な状態はうかがえず、放射線量を測らなければ単なる工場廃墟に見えます。劣化が進む4号機全体を覆うシェルターが300m位離れた場所で完成に向け最後の仕上げを行っていました。1年位で完全に密封するそうです。その後石棺の解体、溶けた燃料の取り出しなどを行うとのことでした。これで100年位はもつということでした。鈍く銀色に光る巨大なシェルターを見あげながら、原発は一旦事故を起こすと、チェルノブイリといい、福島といい、大変なことだと改めて感じました。

そこから5キロ離れたところに元原発労働者の街、プリピチの廃墟があります。森を開いて作った5万人の街は今再び森に返りつつあり、静まり返っています。野生動物の天国になってきています。見学コースは除染されていますが、道の傍の苔に線量計を近づけてみると937ミリシーベルト/時以上でした。

チェルノブイリの30年間から謙虚に学び、福島の被害の全貌をしっかりとらえ、教訓を次世代に残していくべきではないか。そして県民主体の対策をとるべきではないかという感想を改めて考えた短い旅でした。(次号から詳細を連載します)